

特定外来生物の第二次の選定作業の状況について（中間的整理：案）

平成 17 年 6 月 9 日

1 二次指定の検討対象

特定外来生物等分類群専門家会合において確認された「特定外来生物等の第二次選定にあたっての基本的な考え方」及び「第二次以降の特定外来生物等の選定の作業手順」に基づき、分類群ごとに「外来生物の特徴と第二次選定に際しての留意点」及び「今後の検討の進め方」を整理した。

分類群専門家会合における指摘事項を踏まえた現段階での特定外来生物の選定に向けての検討対象は以下のとおり。

（１）第二次指定の候補として検討が進められている外来生物

以下の種については、第二次指定の対象候補とする方向でさらに検討をすすめる。専門家会合としての最終的結論に向け、引き続き関連する知見を整理する。

分類群	種 名	種数(種類数)
哺乳類	ナミハリネズミ、マンシュウハリネズミ、アメリカミンク	3 種
両生類	シロアゴガエル、コキーコヤスガエル、ウシガエル、キューバアマガエル	4 種
魚類	カダヤシ、ケツギョ、コウライケツギョ、ストライプトバス、ホワイトバス、ヨーロピアンパーチ、パイクパーチ、ノーザンパイク、マスキーパイク	9 種
昆虫類	コカミアリ、アシナガキアリ、ツヤオオズアリ、テナガコガネ属	1 属 3 種
無脊椎動物	カワヒバリガイ、カワホトトギスガイ、ヤマヒタチオビ、ニューギニアヤリガタリクウズムシ	4 種
植物	アカウキクサ属、オオフサモ、ボタンウキクサ、オオカワヂシャ、スパルティナ・アングリカ	1 属 4 種
	合計	2 属 27 種 (29 種類)

（２）引き続き検討を行う外来生物

上記（１）以外の種であって第二次指定に向けて情報収集を行うべき生物について、引き続き検討を行う。（ 1 6 3 種類）

（３）検討対象として追加するもの

WWF J、日本野鳥の会、日本自然保護協会により、検討対象として要望があったものであって、今回の専門家会合の検討対象に含まれていない生物についても検討を行う。

（ 2 1 種類）

2 今後の検討予定

上記（２）（３）の生物についても検討を進め、7 月中を目途に第二次指定について最終的な結論を得ることとする。